

(別添1)

No.	11
策定年月	令和2年11月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画

埼玉県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県は、高い耕地率(19.6%で全国第4位)、穏やかな気象及び大消費地である首都圏に位置するという有利な条件を備えている。こうした条件を生かし、米、麦、野菜、果樹、花植木など多彩な農産物が生産され、734万人の県民をはじめ4,417万人の消費者を擁する首都圏に向け農産物を供給している。

水田については、耕地面積の55.4%を占め、水稻に加えて麦類、大豆、野菜などの生産が行われている。農業類型別の生産構造を見ると、野菜、果樹、畜産等では主業農家の割合が高くなっており、米麦等の土地利用型農業では、自給的農家など規模の小さな農家が多くを占めている。

一方で、農地中間管理事業(平成26年開始)等により県内の農地利用集積面積は平成24年度から平成30年度にかけて9.2%(6,062ha)増加しており、規模拡大を進める担い手が増加傾向にある。

今後ともこのような担い手を育成していくため、同事業を活用した担い手へのさらなる農地集積・集約を進めるとともに、高収益作物等の導入を図り、水田農業の構造改革を進めていく。

2. 目標

(1)推進方針

本県では野菜の生産額が833億円であり、県全体の農業生産額1,758億円の約47%を占める。このため、野菜を主な高収益作物の推進品目として位置づけ、首都圏に位置し大消費地を有する利点を生かし、野菜の生産・供給拠点として、多様な流通・販売ルートを活用した産地創出を図る。当面は県の推進品目のうちいちごを推進品目と位置づけ、複合環境制御などの取組を推進することで生産性向上を図りつつ、1産地創出することとする。特に、水田における野菜の作付面積については令和8年までに18.38haの拡大を目指す。

県全体の野菜の作付状況については近年減少傾向であるが、機械化一貫体系の導入や、県内食品業者の加工用・業務用需要による生産拡大を図る経営体も育成されている。また都心からのアクセスが良好であることから、観光農園等への販路の拡大が見込まれる。このため、「ねぎ」等の加工・業務用に適した土地利用型の品目や、「いちご」等の高付加価値で訴求力の高い品目を推進していく。

また市町村段階のプロジェクトチームの設置を推進し、さらなる産地の創出を図り、令和8年までに園芸品目の農業産出額6.97億円の増加を目指す。

(2)推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食用、加工・業務用	施設	観光農園としての需要が見込めるほか、加工により付加価値を高めた販売が可能な品目のため。	0.00 ha (令和2年)	1.04 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	5,000 kg/10a (令和8年)	0 千円 (令和2年)	113,020 千円 (令和8年)		
ねぎ	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	21.37 ha (令和2年)	50.20 ha (令和8年)	2,330 kg/10a (令和2年)	2,452 kg/10a (令和8年)	225,828 千円 (令和2年)	416,966 千円 (令和8年)		
ねぎ	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	21.30 ha (令和2年)	38.70 ha (令和8年)	2,330 kg/10a (令和2年)	2,452 kg/10a (令和8年)	157,600 千円 (令和2年)	261,000 千円 (令和8年)		
ブロッコリー	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	35.25 ha (令和2年)	61.25 ha (令和8年)	1,080 kg/10a (令和2年)	1,130 kg/10a (令和8年)	95,090 千円 (令和2年)	163,600 千円 (令和8年)		
ブロッコリー	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	14.90 ha (令和2年)	33.85 ha (令和8年)	1,080 kg/10a (令和2年)	1,130 kg/10a (令和8年)	20,750 千円 (令和2年)	51,650 千円 (令和8年)		
えだまめ	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	2.75 ha (令和2年)	13.44 ha (令和8年)	795 kg/10a (令和2年)	810 kg/10a (令和8年)	34,477 千円 (令和2年)	65,920 千円 (令和8年)		

2. 目標

えだまめ	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	0.55 ha (令和2年)	1.64 ha (令和8年)	795 kg/ 10a (令和2年)	810 kg/ 10a (令和8年)	1,557 千円 (令和2年)	5,000 千円 (令和8年)		
キャベツ	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能のため。	19.01 ha (令和2年)	40.60 ha (令和8年)	3,630 kg/ 10a (令和2年)	3,742 kg/ 10a (令和8年)	33,011 千円 (令和2年)	62,447 千円 (令和8年)		
キャベツ	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	10.95 ha (令和2年)	29.90 ha (令和8年)	3,630 kg/ 10a (令和2年)	3,742 kg/ 10a (令和8年)	29,372 千円 (令和2年)	48,400 千円 (令和8年)		
レタス	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能のため。	3.35 ha (令和2年)	6.00 ha (令和8年)	2,310 kg/ 10a (令和2年)	2,370 kg/ 10a (令和8年)	18,600 千円 (令和2年)	27,200 千円 (令和8年)		
レタス	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	2.50 ha (令和2年)	4.00 ha (令和8年)	2,310 kg/ 10a (令和2年)	2,370 kg/ 10a (令和8年)	16,900 千円 (令和2年)	23,000 千円 (令和8年)		
はくさい	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能のため。	7.35 ha (令和2年)	22.25 ha (令和8年)	4,470 kg/ 10a (令和2年)	4,578 kg/ 10a (令和8年)	10,412 千円 (令和2年)	21,430 千円 (令和8年)		
はくさい	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	6.25 ha (令和2年)	17.85 ha (令和8年)	4,470 kg/ 10a (令和2年)	4,578 kg/ 10a (令和8年)	7,042 千円 (令和2年)	13,800 千円 (令和8年)		
にんじん	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能のため。	1.60 ha (令和2年)	8.60 ha (令和8年)	3,080 kg/ 10a (令和2年)	3,464 kg/ 10a (令和8年)	7,500 千円 (令和2年)	35,400 千円 (令和8年)		
こまつな	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能のため。	0.80 ha (令和2年)	2.50 ha (令和8年)	1,690 kg/ 10a (令和2年)	1,778 kg/ 10a (令和8年)	2,550 千円 (令和2年)	6,350 千円 (令和8年)		
こまつな	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	0.50 ha (令和2年)	1.50 ha (令和8年)	1,690 kg/ 10a (令和2年)	1,778 kg/ 10a (令和8年)	1,500 千円 (令和2年)	4,500 千円 (令和8年)		

2. 目標

たまねぎ	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	0.65 ha (令和2年)	1.70 ha (令和8年)	3,360 kg/ 10a (令和2年)	3,476 kg/ 10a (令和8年)	8,175 千円 (令和2年)	8,257 千円 (令和8年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	0.25 ha (令和2年)	1.00 ha (令和8年)	3,360 kg/ 10a (令和2年)	3,476 kg/ 10a (令和8年)	1,250 千円 (令和2年)	3,000 千円 (令和8年)		
さといも	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	1.50 ha (令和2年)	3.30 ha (令和8年)	2,090 kg/ 10a (令和2年)	2,172 kg/ 10a (令和8年)	19,000 千円 (令和2年)	40,800 千円 (令和8年)		
さといも	加工・業務用	露地	生産拡大が可能であるとともに、多様な業務用需要に応えられる産地づくりに適した品目であるため。	0.50 ha (令和2年)	1.50 ha (令和8年)	2,090 kg/ 10a (令和2年)	2,172 kg/ 10a (令和8年)	6,000 千円 (令和2年)	18,000 千円 (令和8年)		
だいこん	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	0.00 ha (令和2年)	0.50 ha (令和8年)	3,960 kg/ 10a (令和2年)	4,080 kg/ 10a (令和8年)	0 千円 (令和2年)	2,500 千円 (令和8年)		
ほうれんそう	生鮮用	露地	大消費地の立地を活かし、機械化一貫体系等の導入を図ることにより、生産拡大が可能なため。	0.20 ha (令和2年)	1.10 ha (令和8年)	3,960 kg/ 10a (令和2年)	4,080 kg/ 10a (令和8年)	600 千円 (令和2年)	2,200 千円 (令和8年)		

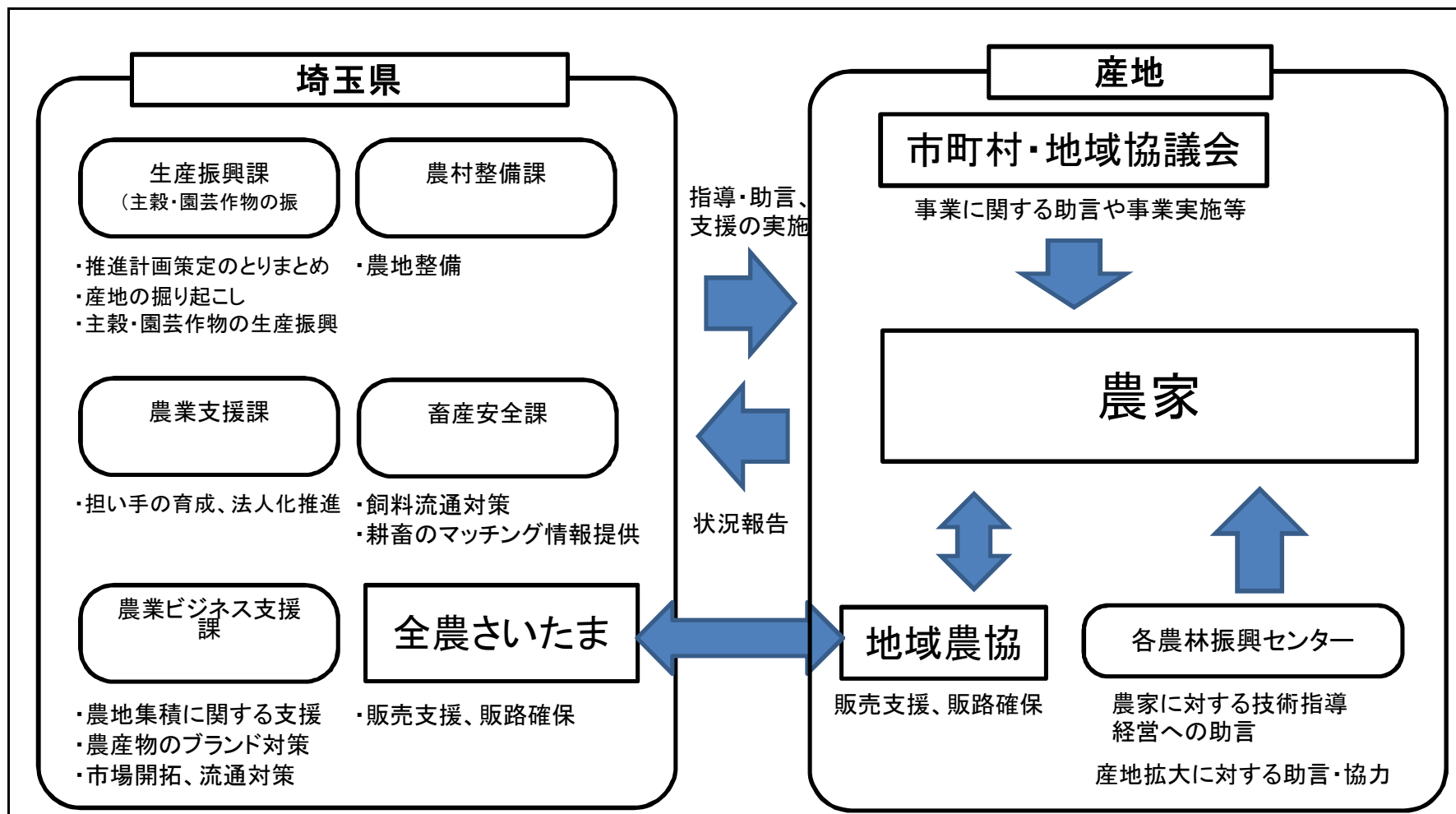
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できる；などの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

- ・地域の特性に適した栽培手法の導入。
- ・低コストおよび生産性向上を念頭においた産地形成の推進。
- ・流通・販売ルートおよび需要見込など売先を意識した計画の策定。
- ・生産から販売まで関係機関が一体となって産地化を促進。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
いちご	埼玉県育成品種である「あまりん」、「かおりん」を中心とした産地拡大支援	環境制御技術や炭酸ガス施用等の増収技術を推進	観光農園、直売など立地条件を活かした販路拡大	
ねぎ	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
ブロッコリー	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
えだまめ	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
キャベツ	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
レタス	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	

4. 目標達成に向けた取組

はくさい	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
にんじん	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
こまつな	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
たまねぎ	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
さといも	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
だいこん	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	
ほうれんそう	機械化一貫体系等を導入することにより、労働時間を削減し、作付拡大を支援	生産性向上に資する機械等を導入することにより、単位当たりの収量の向上を推進	作付面積の拡大による販売量の増大を図るとともに、実需者の要望に応じた販路を拡大	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	越谷市地域農業振興協議会	越谷市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

No.	11-001
策定年月	令和2年11月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
越谷市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	越谷市地域農業振興協議会
構成機関・団体名及び役割分担	越谷市農業協同組合 計画の作成、水田農業高収益化推進助成に係る事務、営農指導、販路確保、経営所得安定対策事務、協議会事務 越谷市農業委員会 農地利用集積の推進、農地利用の最適化 埼玉県農業共済組合越谷地区 農業災害からの経営リスク減少対策 埼玉県春日部農林振興センター 栽培技術等の情報提供・栽培指導、協議会事業への助言・協力 越谷市農業担い手育成総合支援協議会 担い手の育成・確保 元荒川土地改良区 八条用水土地改良区 増林土地改良区 葛西用水路土地改良区 新方領用悪水路土地改良区 農業生産基盤の整備 地域農業振興協議会地域代表 地域ごとにおける経営所得安定対策等の推進 越谷市 強い農業・担い手づくり総合支援交付金産地基幹施設等支援タイプ等支援事業の実施、協議会事業への助言・協力 農業者 (株式会社いちごみらい舎)

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食用／加工・業務用	施設	越谷いちご農園団地	0 ha (令和2年)	1.04 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	5,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	113,020,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。